

January



本年も宜しく お願い申し上げます

今年も「お客様のために!」を
合言葉に一生懸命
頑張ります!



昨年は寒波が続き配達も
混みあい、遅い時間のお届けになつて
しまったり、翌日にお届けしてたり、お客様に
大変ご迷惑をおかけしましたことを心より、
お詫び申上げます。

販売管理課のサエです。今年も宜しくお願いします。

私の息子(長男)は、今年は前厄に当たると言つた事で、厄除けと一緒に
に出掛けたのですが、「俺には関係ない」と何をして行って来たのか?
厄年とは、「42」と「33」に通じるこの21代の年齢だけではなく、男性は
25歳と61歳、女性は19歳と37歳も同じように厄年に当たっている
事を知っていましたか?まだ厄年とはいっても、その1年だけ注意すれば
よいといふものではなく、厄年の前年に当たる「前厄」と後の年に当たる「後厄」を含め
た3年間は充分に注意を怠なければならぬと言つていいんですね。(息子は大丈夫か?)

今年の干支は、ひつじ年ひつじは、群山を作ることから穏やかで人情に厚い
家族の安泰をあらわし、いつまでも平和に暮らす事を望んでいるそうです。私の身内
では、今年1月、2月、そして私の孫が4月に産まれます。どの家でも集まりに
新しい家族の誕生をいまが、いまがと待つています。私の出産では今ではお墓の中
にいるおばあちゃんが新しい洗濯機を買って待つてくれました。その時おばあ
ちゃんは、68歳でしたので元気いつけ、私の世話をしてくれました。毎日酢の物
を作り食べさせてくれました。いつの時代でも、おばあちゃんが産まれる、てしかれせ
だらうでした。おんぶして、かわいがってさわりまくへす。



利根日石新聞

月刊

2009年11月1日
創刊

平成27年1月号

第0000063号

発行
利根日石株式会社
本社販売管理課
TEL: 0278-24-1635
FAX: 0278-23-7980

明けましておめでとうございます

「大荒れ」と注意を呼びかけられた年末年始でしたが、幸い、県内はほぼ穏やかな天気に恵まれたようです。震災から早いもので4年を迎えようとしています。福島第一原発の廃炉処理や汚染水の問題はまだ道半ばですが、川内原発をはじめ各地の原発の再稼動への動きは着々と進んでいます。未だ仮設住宅での生活を強いられてる方がいる一方で、金利緩和を始めとする景気対策はどんどん進められています。あの大きな悲劇が徐々に「過去の出来事」になろうとしてゆく中で私たちは何処へ向かおうとしているのでしょうか。

さて、新聞各社がまとめた2014年の10大ニュースのうち、上位3位までをまとめました。

	日本経済新聞	朝日新聞	読売新聞
1位	「アベノミクス」解散・総選挙	「STAP細胞」真偽騒動	(国内)御嶽山噴火で死者57人、行方不明者6人 (海外)エボラ出血熱でWHOが緊急事態宣言
2位	円高・株安をもたらした異次元緩和	御嶽山の噴火	(国内)消費税8%スタート (海外)韓国で旅客船「セウォル号」が沈没
3位	「集団的自衛権」の行使容認を閣議決定	消費税8%スタート	(国内)ノーベル物理学賞に青色LEDを開発した赤崎、天野、中村の三氏に (海外)ノーベル平和賞にパキスタンのマララさんら

大きな天災、人災が起きた年でした。特に御嶽山の噴火は隣県ということもあり未だ記憶に新しいかと思います。秋の行楽登山はこの辺りでも盛んに行われていることなので、改めて警戒するきっかけとなりました。また、科学の世界では光と影がありました。青色LEDがノーベル賞に選ばれたことは改めて日本の科学の力・技術の高さを示す出来事となり、多くの人を勇気付けた一方で、死者まで出てしまった「STAP細胞」騒動はとても後味の悪い結末を迎えました。

この利根日石新聞も2009年11月の第1号から6年目を数えます。

新聞を作るにあたり、最初から拘っていることが一つだけあります。それは「手書き」で作ること。(毎年1月号の裏面だけは例外ですが…)
パソコン・スマホ、インターネット、SNSなど情報技術がどんどん進む中で、紙に手書きで書かれたものを目にすることも減っています。配達する先にいらっしゃるお客様にもっと私たちのことを知って頂くために始めたこの「利根日石新聞」、ならば書き手のぬくもりも伝えられるように、と手書きで作ることにしました。配達員だけでなく、それ以外のスタッフの気持ちも商品と共に届けして参ります。

どうぞ、本年も利根日石を、そして利根日石新聞を宜しくお願ひ致します。